

南区役所地域力推進課が、4年生の社会科の授業で伊勢湾台風学びの授業を行いました。南区作成の「南区と伊勢湾台風」をテキストとし、動画を併用した授業でした。いつもの社会科の授業とは、教室も内容も先生も異なるためか、最初は少し緊張している様子でしたが、話はしっかり聞き、問いかけには真剣に考え、積極的に授業に参加していました。

「地域の災害を知る・未来へつなげる」という南区からのメッセージは、しっかり伝わったと感じました。



▲ 特活室での授業

真剣に取り組む



アンケートも一生懸命



社会科の先生



▲始まる前は、伊勢湾台風なんて知らない、何やるの、などと言っていましたが、授業ではテキストを読んで、質問に積極的に答え、真剣に取り組みました。

▲最後にアンケートをお願いしたところ、みんな一生懸命に答えてくれていました。

▲社会科の授業担当の先生は、小さいころに伊勢湾台風を経験したそうです。今日学んだことを振り返り、みんなが助かるためにどうすればよいか、勉強しているこうと話されました。

児童の声

- ・いつもの社会の授業とはちがうことがたくさん分かって面白い授業だった。
- ・伊勢湾台風という名前は聞いたことがあったけど、思っていたよりもすごい台風だったことが分かって、怖いと思った。
- ・これからこんな台風がきたら、すごく怖いなあと思います。

先生の声

- ・教員も伊勢湾台風を知らない世代が多いので、このような授業をしていただければ、教員の勉強にもなります。
- ・地震や水害など毎年たくさん起こっているので、災害について子どもたちと一緒に考えていきたいです。